

## JSRT 企画

### ①乳房班

# 正しいポジショニングとは ～あなたは自信を持って後輩の指導をしていますか～

君島乳腺クリニック 放射線科 平井 和子(Hirai Kazuko)

#### 【はじめに】

乳房撮影において、ポジショニングの良し悪しが画質に大きな影響を及ぼしていることは周知のことです。特に乳がん検診では、局所的非対称陰影として二次精査を受ける方が多くいますが、再撮影をすると異常なしとなるケースが多く見受けられます。また、乳腺が明らかに欠損していて、診断に影響を及ぼしかねない画像も目にすることがあります。私たち技師のポジショニング技術に問題はないのか、定期的な見直しや向上させるための取り組みが大事ですが、そもそも、基本となるポジショニング技術を身につけている技師はどれくらいいるのか、正しいポジショニング技術を後輩に指導することができるのかなど、マンモグラフィ技術講習会やNPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構（以下 精中機構）の更新講習会の様子を交えながら、正しいポジショニング技術のポイントなどをお伝えしたいと思います。

#### 【方法】

私は、マンモグラフィ技術講習会や精中機構更新講習会の講師を担当させていただいていますので、その講習会での受講者の様子から、基本のポジショニング技術を身につけることの重要性についてお伝えします。

#### 《マンモグラフィ技術講習会》

マンモグラフィ撮影技師の資格を取得するには、精中機構主催または共催する講習会を受講しなければなりません。そのプログラムの中にポジショニング実習があります。実習を始める前に受講者（後輩技師）に必ず下記のことについて確認します。

Q: 誰からポジショニングを教わりましたか？

A: 先輩技師

Q: その先輩技師は認定技師ですか？

A: 認定技師

ほぼ全員が認定を持っている先輩技師から指導を受けたと回答しますので、受講者は、皆、基本的なポイントを押さえたポジショニングができるはずなのですが、実際はほとんどの方ができていません。

先輩技師が基本通りに教えていないのか、それとも、後輩技師が我流になってしまっているのか、指導している先輩技師が受講する更新講習会について、次に述べます。

#### 《精中機構更新講習会》

認定技師（先輩技師）が資格維持のため5年ごとに受講する必要がある講習会です。合格点を取得できなければ、一定期間の研修・研鑽後に再評価を受けることが推奨されますが、点数によっては、再評価が義務付けられ、その結果によっては資格失効となります。

更新講習会では、講義・筆記試験・読影試験・臨床画像評価実習を行います。臨床画像評価実習では、受講者が1年以内に撮影した不均一高濃度のMLO画像を提出し、受講者本人による画像評価を行い、改善点などを正しく把握しているか理解度を確認します。筆記試験・読影試験に画像の点数が上乘せされますので、受講者が一番良いと思われる画像を提出しているはずですが、残念ながら、実際は、下記のような画像が多く見受けられます。

- ・乳房下角が切れてしまっている
- ・乳房下角に大きな皺が入っている
- ・乳頭が乳房内に入り込んでいる
- ・左右が明らかに非対称である
- ・下垂して、乳腺が広がっていない
- ・大胸筋が入り過ぎている
- ・大胸筋の高さが不足している
- ・乳腺後隙が写っていない（明らかに乳腺が切れている）

受講者のポジショニングを確認すると、基本ができていない方が非常に多いと感じます。そして、そのような方が後輩技師の指導をしているわけです。

#### 《マンモグラフィに求められる画像とは》

マンモグラフィに求められる画像は、乳腺組織全体が写し出されている画像であり、乳腺組織内部の構造がわかる画像である必要があります。そのためには、ブラインドエリアの存在や固定組織と

可動性組織を理解することが重要で、欠像を最小限にとどめる、乳腺実質を十分に広げる、乳腺実質内の僅かな変化を濃度差としてとらえられることのできるポジショニング技術が必要とされます。そして、良い画像としての判定基準を理解することが重要です。

#### 《正しいポジショニングとは》

正しいポジショニングを実践するには、基本のポイントを押さえることが大切です。

- 受診者の立ち位置・体の向き
- 支持台の高さ・角度
- 可動性組織の固定組織側への移動
- 手指や前腕の使い方・抜き方
- 適正な圧迫
- 技師の立ち位置

#### 【まとめ】

診療放射線技師（認定技師）として受診者に安心・安全な医療提供を実践する責任があります。そのためには、ポジショニング技術の研鑽、被ばく線量の管理、機器の管理などの精度管理を日々実践しなければなりません。併せて、受診者に対する接遇も重要です。受診者のリラックスの度合いがポジショニングに大きく影響しますので、受診者への適切かつ十分な説明を行い、受診者と技師との信頼関係を築くことが重要です。

資格を取得し、それを掲げて業務を行うということには責任が発生するということを認識していただきたいと思います。

#### 【参考文献・図書】

- 1) 聖路加国際病院 小山智美 手にとるようにわかる「マンモグラフィ撮影」見てすぐわかるポジショニング